

職員の声 兵庫県立こども病院 薬剤部

こんにちは！平成29年4月に採用された薬剤師1年目の新人です。今回は私が担当している産科病棟について紹介します。

当科はハイリスク妊産婦のみを受け入れる紹介型医療施設であり、入院理由の上位は切迫早産、胎児形態異常、羊水量異常、前期破水、胎児発育不全、多胎です。そして、切迫早産の中でも、妊娠24週未満や推定体重500g未満の胎児等も受け入れています。

病棟では薬剤管理指導の他にも、毎朝行われる産科カンファレンス、週1回の産科・新生児内科合同の周産期カンファレンスに参加し、多職種と密接に情報共有を行っています。

当院では出産前から出産後まで継続的に患者さんに寄り添える事が魅力の1つです！



新病院に移転してからは、病棟薬剤業務を開始しました。薬剤部を出て病棟へ積極的に向かう事によって、抗菌薬などの薬剤選択に関する質問や患者さんの服薬アドヒアランスに合わせた剤形変更に関する相談、TDMの依頼など、病棟では様々な相談や依頼を受けます。また、私達薬剤師からも治療等に関して疑問があれば医師・看護師

へ質問できる環境が整っています。病棟業務の中で様々な情報を医療従事者間で相互に共有することで、患者さんの日々の変化に気づきやすくなり、より患者さんに寄り添った服薬指導を行う事が出来ます。

当院では、総合母子周産期医療センターとして小児・周産期高度医療の様々な業務に携わることが出来ます！

また、県立病院全体では総合病院・専門病院と特色溢れる施設が多く、学べる環境が整っています。皆さんもぜひ一緒に働いてみませんか？



合言葉は

「げんきにかえる！」

